

令和2年度 葛尾村立葛尾小学校だより



きずな

令和3年3月4日 NO.34

葛尾小学校長 伊藤 恒明

重点目標 Let's try! 自分を信じて レベルアップ!!

<https://www.katsurao.org/site/es>

6年生を送る会が行われました！

3月3日（水）5校時目に集会委員会の企画による「6年生を送る会」が行われました。今年度の6年生は一名。6年生の児童は、いつも下級生の皆を優しく気遣い、声をかけてくれていました。1年生から5年生にとって、6年生の存在はとても大きく、常によき見本として活躍してくれました。そんな6年生のために、集会委員会が思い出に残るような楽しい企画を準備してくれました。



今回は、最初にジェスチャーゲーム、次に6年生の学校生活を振り返った紙芝居、だるまさんの一日、全員合唱等を行いました。その後、6年生と担任の先生へのプレゼントの贈呈もあり、どれも大変盛り上がり、皆楽しめたようでした。

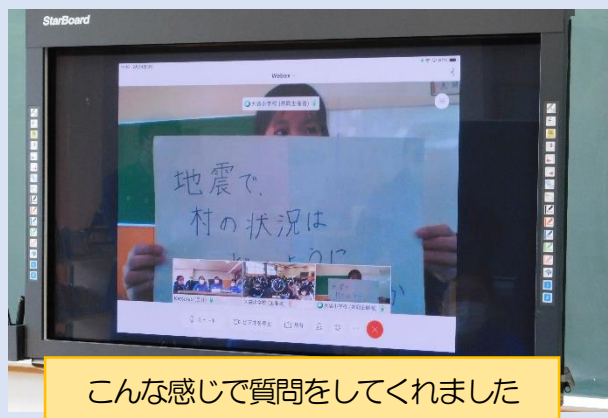
最後に6年生から「中学校に行っても、恥ずかしくない行動をとっていきたい」と御礼と決意の言葉があり、全校児童と全教職員に手づくりの心がこもったしおりを手渡していただきました。

卒業まで残り少なくなってきましたが、悔いが残らないよう、思う存分楽しい日々を過ごしてほしいと思います。

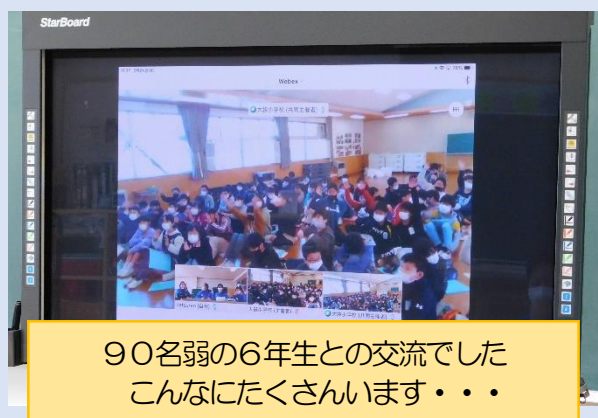
越谷市立大袋小学校との交流

2月24日（水曜日）、総合的な学習の時間に、埼玉県越谷市立大袋小学校の6年生とオンラインで交流しました。

大袋小学校は、全校児童495名の大規模校です。今回、交流させていただいた6年生も90名近くいるとのこと、学校生活や地域について質問し合いながら、お互いの環境の違いなどを理解していました。また、小学生ならではの共通点もあり、短い時間ではありましたが、交流を楽しんでいました。



こんな感じで質問をしてくれました



90名弱の6年生との交流でした
こんなにたくさんいます・・・

ご支援いただきました

「双葉郡の小中学校の児童・生徒に各地の特産品を贈ることで、元気と勇気を届けたい」という想いで東日本大震災の被災地支援を続けている南相馬市出身の僧侶 泉 智仁 様（名古屋市在住）より、ヤマロク醤油をいただきました。

醤油は、すでにお子さまを通して各家庭にお届けしております。ご支援いただきました泉様、また、その趣旨に賛同し醤油をご提供いただきましたヤマロク醤油株式会社様、本当にありがとうございました。



ヤマロク醤油は、木桶（きおけ）を使った昔ながらの製法で作られた醤油です。

泉様は「手間をかけて、作り手の思いが込められた伝統品には被災者を勇気づける力がある。また、『本物』を知ること子どもたちの見識も広がる」との考えから、特産品を贈る活動を続けている方です。